

高等学校 芸術(書道) 実技試験問題

一

次の(一)～(三)の古典をそれぞれの指示に従い、臨書せよ。

(一) 孟法師碑 (指示…半紙を縦に使い、毛筆を用いること。)

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅱ

教育図書

52ページ

(二) 黄州寒食詩卷跋 (指示…半紙を縦に使い、毛筆を用いること。)

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典…書Ⅱ

教育図書

51ページ

(三) 高野切第一種 (指示:改良半紙を縦に使い、毛筆を用いること。)

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：日本名筆選1  
二玄社  
22 ページ  
高野切第一種

二 次の(一)～(三)に答えよ。

(一) 次の□の中の語句を、次に示す条件を満たすよう揮毫せよ。

〈条件〉

- ・ 半切は縦に使い、書体は行草に限る。
- ・ 落款は「但山書」とすること。

客子光陰詩巻裏 杏花消息雨聲中

(陳與義)

(二) 次の□の中の俳句を、仮名の書作品として、次に示す条件を満たすよう揮毫せよ。

〈条件〉

- ・ 仮名の書の特徴を生かして創造的に表現すること。
- ・ 漢字・仮名の変更、変体仮名の使用は自由とする。
- ・ 改良半紙の縦横は自由とし、落款印の代わりに「○」を墨書すること。

白梅しろうめに明くる夜よばかりとなりにけり

(与謝蕪村)

(三) 次の□の中の語句を、示範作品として、次に示す条件を満たすよう揮毫せよ。

〈条件〉

- ・ 「漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成」の工夫について考えさせることができる作品であること。
- ・ 「漢字と仮名の調和した線質による表現」の技能について考えさせることができる作品であること。
- ・ 漢字・仮名遣いは□の中のままとし、半裁を使い、縦書きとする。書体、行送りは自由とする。
- ・ 落款印の代わりに「○」を墨書すること。

あるがまま雑草として芽をふく

(種田山頭火)

三 次の(一)、(二)に答えよ。

- (一) 次の□の中の文をボールペン(消せるボールペンの使用は不可)で丁寧に体裁よく書け。漢字は楷書または行書とし、仮名は連綿させないこと。また、漢字・仮名遣いは□の中のままとし、行送りは自由とする。A4判用紙を横長に使い、縦書きとする。

友と友の間の信実は、この世でいちばん誇るべき宝  
なのだからな。セリヌンティウス、私は走ったのだ。

(太宰治「走れメロス」より)

- (二) 次の□の中の語句を、立て看板として体裁よく書け。漢字の書体は楷書とし、漢字・仮名遣いは□の中のままとし、行数は変えてもよい。小画仙紙(全紙)縦置き3/4用紙を縦に使い、縦書きとする。

演題 伝統芸術のこれから  
講師 谷町大学教授 大阪次郎先生



